

親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝宝箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター いせきくん、やよいちゃん

7 野添住吉神社の狛犬こまいぬ

今月は野添住吉神社の狛犬を紹介します。



▲かわらぬ願いが、今もここに…



「クイズ」

神社を守るこの犬をなぜ狛犬というのでしょうか。

- ①「高麗」から来た魔除けの「犬」だから
- ②「駒」のようによく走って番をする「犬」だから
- ③「独楽」のようによく回って番をする「犬」だから

神社の参道には一対の狛犬がいます。「唐獅子」といわれる場合もありますが、大陸の「高麗」から日本へ飛鳥時代に来た犬です。ただ、犬といっても「魔除け」として、絵や物で来しました。その後、宮殿での置物となり、やがて神社などに広がりました。姿はライオンのようにたてがみがあるものもあります。□は、仁王様のように向かって右が「阿」で開口し、左が「吽」で閉口しています。

さて、野添住吉神社の一対の狛犬には、ひとつの記録が刻まれています。まず、大きさについて。左右ともに、三段の台座を含めて高さが一七四センチメートルもあって、しっかりしたものです。内、狛犬自体の高さは七八センチメートル、幅六三センチメートル、奥行き三七センチメートルです。顔はかわいく愛嬌があります。

また、向かって右側の台座には「奉」が、左側には「納」とあります。右から左へ読むと「奉納」となります。さらによく見ると、右側の台座には「酒造 働連中」、左側には「素麺 働連中」と刻まれています。「奉納」した人々です。次に左側の台座裏面には「奉納」された年が「天保二年（一八三二）」と刻まれています。

このことから、江戸時代の当時、この地域には、農業だけでなく、冬には酒や素麺を造りに出掛け、村を豊かにしていた人々がいたことがわかります。そして、この狛犬は、いつまでも幸多き村であるようにとの願いが込められて造られたと思います。

野添の住吉神社は、今でも地域の神様として大切にされ、秋になると各地区からの御輿が境内に集まり、幸多きことに感謝しています。
(郷土資料館 館長 田井恭一)

■ クイズの答 ①「高麗」から来た魔除けの「犬」だから



町の人口 9月1日現在		(住民基本台帳人口+外国籍人口)	
34,220人 (-45人)	男…16,804人 (-29人)	女…17,416人 (-16人)	世帯数…13,507 (-8)